

## カイコーポレーション オゾン脱臭機

# たばこや香水、短時間で無臭に

たばこや香水の臭いが残るホテルの客室、社会問題化している孤独死やゴミ屋敷の現場など、企業や自治体にとって臭いの除去に悩む場面は意外と多い。そんな現場でカイコーポレーション（東京都千代田区）が扱うイスラエル製のオゾン脱臭機「黄色い脱臭機シリーズ」が注目されている。

### 国内でオンリーワン

主に法人用オゾン水除菌システムを販売していた同社が、イスラエルのエコゾン・テクノロジーと「黄色い脱臭機シリーズ」の独占販売契約を締結したのは2008年だった。オゾンには臭気物質と反応すると互いに分

解し酸素になる性質がある。国際特許を取得している、この消臭機が生成するオゾン量は1時間当たり7500～1万2000<sup>ミリグラム</sup>と日本製の7～12倍にもなる。「黄色いシリーズ」とは機械のボディの色から名付けられ、そのパワーは海外ではすでに高い評価を得ていたが、細貝利一郎社長は当初、「日本でこれほど高いスペックの脱臭機が必要な、臭いの深刻な現場があるだろうか」と契約は結んだものの懐疑的だった。

その懸念を払拭したのが死後1カ月を経過した孤独死の現場だ。「鬼のように壮絶な悪臭」（細貝社長）。国産のオゾン消臭機器では複数設置したうえ1

カ月間フル稼働しても臭いは半減程度にしか抑えられない。オゾン生成量が臭いの量に追いつかず効果が薄いのだ。黄色いシリーズを投入したところ、1日6時間、2日間稼働しただけでほぼ無臭に戻すことができた。

香水や香辛料の強い臭いが残る外国人宿泊客の多いホテルにも高いニーズがあった。細貝社長は「ホテルや賃貸住宅は100%脱臭できなければ次の客が使えない。短時間かつ完全だからこそ顧客が満足し商売になる。国産機器では技術的に難しいオンリーワンのサービスが提供できる」と話す。

15年の民法改正で賃貸住宅の経年劣化による修繕は家主負担となった。黄色いシリーズを稼働させれば、完全脱臭で退去清掃のクロス貼り換えなどを省けるメリットがある。

機械が活躍できる多くの現場を開拓することで、08年の販売開始以来、累計2000台を出荷。年間平均300台を販売するまでになった。



強力な消臭効果が注目を集めるイスラエル製「黄色いシリーズ」と細貝利一郎社長

### 問題解決をサポート

機器だけでなく脱臭ノウハウを組み合わせたパッケージ販売も同社の強み。臭いの種類、空間の面積・体積、温度や湿度に合わせた前処理、薬剤、最適なオゾン濃度を分析し、問題解決をサポートする。「単なる機器販売にとどまらず『ソリューションビジネス』として展開したことが成長の鍵」（同）だという。

同社では今後、全国の水害現

場で同品質の脱臭サービスを提供できるネットワーク作りを力を入れる考えだ。毎年のようにどこかで水害が起きているが、その後の悪臭対策は、あまり手が付けられていないためだ。

また、取引先を中心に年数回セミナーを開くほか、同業者と連携し「消臭マイスター」「消臭ソムリエ」などのアドバイザー資格制度も立ち上げた。

「一日も早い日常生活、営業再開のお手伝い」をキーワードにさらなる事業拡大を狙う。

#### ■会社概要

- ▷本社＝東京都千代田区神田東松下町29-6 DeLCCS KANDA 5階
- ▷設立＝1996年9月
- ▷従業員＝8人
- ▷事業内容＝オゾン機器の卸売り、オゾン機器のメンテナンスサービス、脱臭コンサルティング、脱臭サービスの提供など